作成者：環境指標WGリーダー　田中 颯人
サブリーダー　鎌田 志保

2025年度 環境指標WG 活動報告

活動方針及び テーマ	〈活動方針〉 WPRC製品の普及拡大を目的とし、WPRC部会と連携を図りながら、調査・情報収集やアカデミックな視点によるディスカッションを基に、各分科会への提言や支援を行う。
	〈テーマ〉 木材・プラスチック再生複合材部会 環境指標WG
メンバー （敬称略）	リーダー　:田中 颯人（京都府立大学大学院） サブリーダー　:鎌田 志保（京都府立大学） メンバー　:石原 智佳(岐阜県生活技術研究所) 神代 圭輔（京都府立大学大学院） 中谷 允則（京都府立大学大学院） 渕上 佑樹（三重大学大学院） アドバイザー　:古田 裕三（京都府立大学大学院） 事務局　:松田 充司(建産協事務局)、三浦 浩二(WPRC部会事務局) オブザーバー　勝間田 実（文化シャッター（株））、深川 英樹（YKK AP（株））、田口 秀法（ミサワホーム（株）） 中沢 卓司（積水樹脂（株））、渡邉 厚((株)エコウッド）　計14名

活動 テーマ	テーマ内容	活動内容
普及広報分科会 支援	日本語版HPの作成と政府広報活動の支援	【目的】 WPRCの普及広報を行うことを目的とし、そのために必要な情報の更新・資料の作成を行う。 【概要】 ・日本語版HPの内容を追加する。 ・JHBSへの出展を支援する。 10月：JHBS用ポスター資料案提出 11月：JHBS現地説明を実施 3月：政府広報活動用資料案提出 3月：日本語版HP 公的認定の表改正案提出 3月：日本語版HP改定案(昨年度事業実施分も含む)を反映済み
標準化分科会 支援	CO_2削減効果の算出支援	【目的】 WPRC多回（水平）リサイクル実現を目的とし、そのために必要な調査、検討、課題抽出を行う 【概要】 ・SuMPO・EPDを基にWPRC多回（水平）ﾘｻｲｸﾙによるCO_2削減効果の再数値化する。 3月：SuMPO・EPDを基にしたCO_2削減効果を算出
独自テーマ1	WPRCの認知度向上に向けた取り組み	【目的】 WPRCに対する認知度を高めることを目的とし、WPRC部会HPの充実やメールマガジンの配信を通した各都道府県の行政機関へのWPRCに関する情報発信を行う。 【概要】 ・配信先がイメージしやすいように、部会を通じ各企業の施工例や活動について取材を行い、取材内容を元にメールマガジンの配信を行う。 9月：第1回メールマガジン配信 12月：ミサワホーム株式会社 田口氏にヒアリング調査実施 1月：第2回メールマガジン配信 3月：HP掲載用 パンフレット案作成
独自テーマ2	客観的な視点からのWPRCの特徴の整理	【目的】 WPRCのPRポイントを客観的に評価することを目的とし、そのために必要な調査を行う。 ・他のエコ素材を調査し、そのPRポイントを洗い出す。 ・洗い出したその他のエコ素材のPRポイントとWPRCのPRポイントの比較・検討を行い、整理する。 5月：関西エクステリアフェアにおける調査 9月：ニチモウ株式会社 ヒアリング調査実施 10月：アップサイクル技術展における調査 11月：サステナブル経営WEEKにおける調査 12月：エコプロダクツ展における調査 3月：まとめを作成